

指導教員名	山川拓也
-------	------

活動区分	商品開発型	連携先	企業

～ 第13回関空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画における(株)読売旅行との協働 ～

活動の様子



取り組む課題

観光商品マーケティングに関する専門知識を活用しつつ、「学生らしい斬新な発想」と「旅行商品としての実行性」の両立を図り、具体的な企画として提示すること。



企画・活動概要

第13回関空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテスト(共催:一般社団法人日本旅行業協会関西支部・関西エアポート株式会社)に参加し、(株)読売旅行との協働により、擬似旅行商品企画としてのツアーの立案と内容の磨き上げをおこなった。その結果、2022年6月に開催されたコンテストの最終審査において、企画内容とプレゼンテーションの総合判定により、優秀賞を獲得した。

本学(学生)の役割

メンター(株式会社読売旅行)のサポートを受けながら、第一次審査時に考えた企画をブラッシュアップすること。

経緯・背景・目的

関空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテストは、関西国際空港発着の国際線航空便を利用して訪問可能な国・地域への「学生らしい斬新な発想かつ実効性のある旅行企画」を募るものである。コンテストでは、一次審査通過企画に対し、実在するリアルな旅行会社のサポートを受けながら擬似旅行商品を作り上げる機会が与えられる。これにより、学生は旅行商品の企画やマーケティングといった旅行・観光ビジネスの最前線を体感することができる。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

活動後の振り返りでは「社会人になった時のリアルを疑似体験することができ、実社会や企業のマーケティング活動をイメージしやすくなった。授業等で企画を行うことはあったが、販売する時までを想像することは困難であった。実際の旅行会社との協働経験を通して、企画技術やノウハウに限らず、社会の中で協働して価値を創造することの苦勞や喜びも学ぶことができた」といった総括的意見が出た。取り組みを通して、主体性や責任感、最後まで諦めずに考え抜く力、チームで働く力、異文化協働力といった全般的な社会人基礎力、ビジネスコミュニケーション上のマナー等を修養できたと考える。



指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
観光学科
准教授
山川拓也(ヤマカワタクヤ)

<専門・担当科目等>
観光経済学、
観光マクロマーケティング、
観光消費文化論

<関係者・企業等>

株式会社読売旅行
海外企画仕入部(大阪)
課長
島倉元様(シマクラハジメ)